

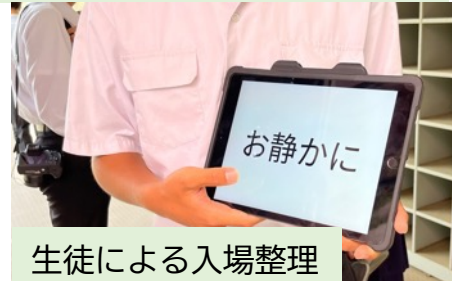
生徒集会と「愛のある挨拶」

6月6日に生徒集会を行いました。生徒集会は定期的に行っていますが、全て生徒会執行部が運営をします。今回も、体育館入場の指示、進行、説明、校歌合唱、退場まで、職員が口出しをする場はほとんどありませんでした。これぞ、「生徒が自律した集会」だといつも感心して見えています。

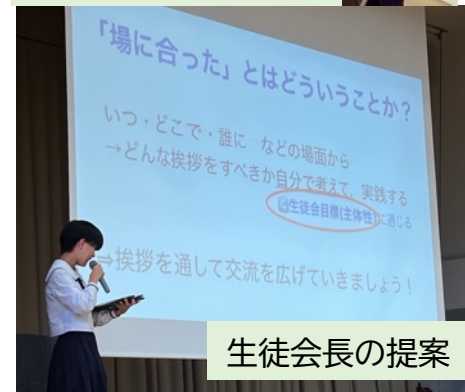
今回の生徒集会テーマは「挨拶」。生徒会長から「場に合った挨拶とは」の問題提起がありました。いつ・どこで・誰になどの場面に応じて、どんな挨拶をすべきか自分で考えて実践しようという提案でした。これから、場に合った挨拶が広がっていくことを期待しています。

話変わりますが、私は毎朝、数名の職員と生徒たちを正門で迎えています。そこでは、いろいろな「おはようございます」があります。小学生は大きな声で、中学生はにっこり笑って会釈、どれも気持ちいい挨拶です。

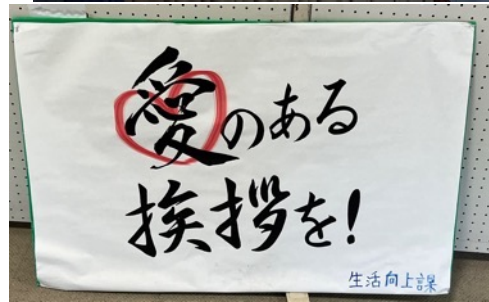
生徒昇降口には、「愛のある挨拶を！」という生活向上課からのメッセージが置いてあります。今後、「場に合った愛のある挨拶」があふれる学校になることを期待しながら、これからも正門で生徒を迎えます。



生徒による入場整理



生徒会長の提案



生活向上課

響きあい学習会、たいしたものです

6月10日5時間目に3年4組で全職員参加しての研究授業がありました。本校の研究授業では、各クラスの学習リーダー会の生徒が授業を参観し、授業後に検討し合う「響きあい学習会」もあわせて行われます。

研究授業も質の高いものだったのですが、本校ならではの「響きあい学習会」、たいしたものでした。

授業後、学習リーダー会の生徒が中心に座り、その周りに授業クラスの3年4組の生徒、その周りに職員が座って、「響きあい学習会」がスタート。学習リーダー会長の司会進行のもと、

「理想とする対話に近づけていたのか？」という議題のもと、意見交換。

学習リーダー会からは、対話の質を高めるために、「内容を高めるためには批判的意見も大切、意見を言いやすい周りの環境が大切、たくさんの意見を出したり聞いたりすることが大切、多面的に考えるために多くの発表が大切」等の意見が出されました。この議論をまとめ、各クラスで共有して、これからの授業の活性化につなげてくれることを期待しています。明日から、各クラスの授業を見て回る楽しみが増えました。



響きあい学習会

○学習リーダー会として見てもらいたいPOINT

理想とする対話に近づけていたのか？

場面、意見内容、話し合いの様子、などを根拠に。

良かった点
理由に迫る
改善点
どうすればもっと深まったのか？

学習してクラスにどのように活かしていく必要があるだろうか？

みんなが授業に参加するためには何が重要か？
また、どうすれば良いのだろうか？
「質の高い学びとは？」への問いが活かせるかも！
学習は質の高い授業とどのように関係しているのか。

授業の記録(○:よかったこと△:改善点)	自分の考え

学習リーダー会が作成した授業参観シート